

## Ladies' Dressmaking 洋裁

### 既製服の合理的製法に注目 10時間でジャケットを制作

高度な技能からつくりだされる婦人服デザイン画と仕様書に基づき、支給された材料を裁断、縫製、アイロンがけして、2日間かけてジャケットを制作する競技です。10時間という制限内で、シルエット、身ごろ、えり、そで、手まつり、糸くずや汚れ、安全衛生・作業態度、全体の仕上げといった採点項目で競い合います。国際大会のルールに近づけるため、袖口ディテールは、当日発表されます。

#### 競技について 競技時間：2日／10時間

今年の競技課題は高い課題が詰まった「スーツの上着」を、仕様書をもとに制作します。身体のラインにそってウエストラインを絞ったシルエット、それぞれの線を、左右均等に仕上げる技術が求められ、身頃のシルエットや袖の形状はアイロンでのくせとりで美しい形に仕上げます。作品は、人台にフィットし、シルエットが美しく表現されていなければなりません。

#### 競技職種と生活との関わり

日常生活から、結婚式などの各種パーティーの場に至るまで、女性のおしゃれ心を満たしてくれる婦人服。季節や場面に応じて様々な素材、色、デザインで、個性や魅力を引き立たせています。洋裁職種とは、このような美しさ、心地よさ、機能性などを兼ね備えた婦人服をオーダーメイドで作り上げる高度な技能が求められる職種です。時代の流れと共にファッションは限りなく変わり続けます。婦人服と共に進む技能者の未来も、限らない可能性に満ちています。

#### 前回大会金メダリストからメッセージ！

楽しんでベストを尽くして  
頑張ってください！



森 莉菜さん  
専門学校岡山ビジネスカレッジ



ハサミ&  
メジャー



ルレット&  
ピンクッション



アイロン



2022年大会  
競技課題

### 当日課題はどちらか？ 細かいデザインを 素早く美しく仕上げる

袖口、ディテールに注目。当日発表課題となる袖口ディテールデザインは「本開き(鳩目穴) 釦止・額縁仕立て」と「後付けカフス」の2種類がありどれも高度な技術が必要です。素材・色・デザインと変化の多い婦人服は、確かな技術・技能のもと、手作業で課題をクリアしていかなくてはなりません。

高橋 良人主査  
洋装たかはし

